



年頭の ごあいさつ

淀江町長 田口勝蔵

明治の合併から百十五年

昭和の合併から五十年

そして、今年

米子市との合併を迎える

新しい淀江の

始まり

平成十七年一月

淀江町民の皆様、平成17年（2005年）の新年、明けましておめでとうございます。それぞれに、ご家族お揃いで、健やかに新しい年をお迎えになりましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、昨年、数々の台風の襲来や新潟中越地震などの自然災害で、不幸にも犠牲になられました皆様に対し心よりお悔やみ申しあげますと共に、被害にお遭いになられた皆様に対し心よりお見舞いを申し上げます。

さて、淀江町は、明治の合併で、鳥取市、米子町、倉吉町、境港町、そして、県内その他のほかの233の村ができた明治22年に淀江宿と西原村が合併して誕生いたしました。そして、昭和30年9月に、それまでの淀江町と宇田川村、大和村、そして、高麗村今津が合併して現在の「淀江町」が誕生したのであります。実に、今年、明治22年から数えて115年、昭和30年から数えて50年という節目の年であり、永い歴史の積み重ねがございます。昭和の合併当時の人口は約9千4百人余り、教育熱心で、人情味あふれる田園豊かな町でありました。

この50年の歩みの中で、この地を政治、経済、文化、あるいは、交通などの要衝として位置づけて、まちの発展と町民の幸せを目指された緒先輩各位の並々ならぬご努力が続けられて、着実な成果として積み重ねられた訳でございます。そして、今日、人口こそ合併当時を上回ることはいくらもありませんでしたが、鳥取県西部地区の拠点として、重要な位置を占めるようになりました。この際、わが町の発展にご尽力、ご理解、ご協力いただきました、歴代の町民の皆様を始め、町議会議員各位、

行政委員会委員・審議会委員等各位、そして、職員、行政執行三役各位など、その他関係する全ての皆さんに、深甚なる敬意と感謝を表します。本当にありがとうございます。さて、本年の淀江町にとって最大の出来事は、米子市との合併でしょう。皆さん、淀江町民憲章の前文に「私達は石馬を持つ淀江町民です。先人の築いてきた歴史と伝統を受け継ぎ、後略」とあります。わが町からは、旧石器時代、縄文・弥生時代からの遺跡遺物が数多く発見されていて、2千5百年以上前からこの地にはムラが存在し、生活の営みや文化の醸成があったと確認されています。このように、私たちの淀江町には、先人が築いてきた文化的資産とかけがえのない自然の恵みがあります。そして、叡智を集め変革を果した半世紀、この誇りある歴史的文化やかけがえのない自然を、次世代に、より良い姿で引き渡していかなければなりません。私達は、今ある生活や環境を大切に守りながら、子孫にわたるまでの長期的な安定と発展を続けるために、米子市との合併を選択し決断いたしました。

